

## 1. 「福祉家事援助サービス」「子育て支援サービス」で女性会員が大活躍！



親子とシルバー会員とで行ったクリスマス会のようす

シルバー人材センターでは、高齢者を対象に、優しくきめ細やかなサービスを提供する「高齢者安心お助けサポート」を実施し、高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

足腰が弱く思うように動けないときなどに掃除や買いもの、簡単な調理、通院の介助や薬取り、入院の付き添い、車いすでの外出介助などを、訪問介護員2級や専門の講習を受けた会員が行います。

子育て分野では、「市民が安心して子どもを産み育てることのできる街づくり計画」に沿い、女性会員が豊富な子育て経験をいかし、若いお母さんたちのお手伝いをしています。

具体的には、低学年児童のお迎えの代行や、子どもといっしょに留守番やお散歩などをします。従事する会員は「幼児安全法」などを勉強し、お母さんたちの相談にも応じています。

また、ワーキングプラザ戎（教育支援センター（戎町3-41）隣）では、「愛あい広場」を月2回、月曜日に開設し、親子とシルバー会員で楽しくおしゃべりなどをしています。

家に閉じこもりがちなお母さん。子連れで自由に参加できます。一度遊びに来ませんか。

## 2. 住宅用火災警報器の取付はお済みですか

冬は火を使う機会や異常乾燥日も多く、全国的にも大火災が頻繁に起こり、死亡にいたる悲惨なニュースも後を絶ちません。火災予防と人命第一の観点から、住宅用火災警報器の重要性は高まっています。

シルバー人材センターは、住宅用火災警報器の取り付け事業を行っています。警報機はパナソニック製の音声タイプで、10年寿命の電池タイプです。基本は寝室に取り付けとなっていますが、個数や取り付け場所についてはご相談に応じます。

## 3. 好評の「包丁研ぎ」 特価セール開催！

ご好評いただいている「包丁研ぎ」の特価セールを行います。お気軽にお立ち寄りください。

**日時** 2月14日(火)～15日(水) 午前10時～午後4時  
**場所** シルバー人材センター事務所（市役所駐車場出口横）

**料金** 菜切包丁…400円、出刃・刺身包丁…500円  
※通常行っている包丁研ぎの際には、刃物研ぎ（ハサミを含む）や、洋服の寸法直し、市指定ごみ袋・粗大ごみ収集券の販売も行っています。刃こぼれ・柄の取り替えは別途料金がかかります。



# シルバーから6つののお知らせ

## 4. 推進しています！「ごみ減量プロジェクト」「低炭素社会プロジェクト」

市が平成23年度を「環境都市元年」と位置づけ、「循環型社会の構築」を目指していることに合わせ、シルバー人材センターでは、リサイクル活動や低炭素社会の推進に協力していきます。

従来、センターのせん定作業などにより排出された残材は、可燃ごみとして焼却処分されてきました。このたび、その一部を特殊加工し「チップ」状にし、ごみの減量化、二酸化炭素排出低減を可能にし、防草対策や、肥料としての再利用も図ります。

また、市では雨水タンク設置に対し補助金（事前申請が必要）が支給されています。

シルバーでは、雨水タンクの取り付けも行っており、ベテランの大工などが作業するとともに、補助金の申請についてもご相談に応じます。



せん定した枝を「チップ・シュレッダー」を使い、細かくする

## 5. 料理教室で高血圧予防料理など学びませんか？

高齢者のためのかぜ・高血圧予防の料理を学びます。

**日時** 2月8日(火) 午前9時30分～11時30分

**場所** 総合福祉センター

**対象** 55歳以上

**参加費** 無料

**定員** 先着24人

## 6. 人気です！中高年の「初心者パソコン教室」

パソコンが初めての人を対象に、パソコンの操作、文字の入力やワードの基本を学び、日常生活に役立つ文章作成を重点とした講座を開催します。

**日時** 3月8日、15日、22日、29日（毎週木曜） 午後1時30分～4時30分

**場所** 総合福祉センター

**対象** 市内在住の55歳以上の人で、原則全日程参加可能な人

**定員** 12人（応募者多数の場合抽選）

**参加費** 教材費として2,000円

**申込** 2月15日(火)までに所定の申込用紙、または往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・3月受講希望と記入のうえ、シルバー人材センター（〒595-0026 東雲町9-12）へ



パソコン教室のようす



せん定作業

## さまざまな仕事で地域のお役に立ちます！

# シルバー人材センター

高齢者に就業の場を提供し、会員の豊富な知識・経験を地域に還元、あらゆる場面で市民生活をサポートしているシルバー人材センターのご紹介です。会員も随時募集しています。



益社団法人泉大津市シルバー人材センター（以下「シルバー」）は、

長引く不況を背景に、近年契約額は減少していますが、そうした厳しい事業運営の中、平成24年4月で設立30周年を迎えます。昨年4月には公益社団法人の移行認定を受け、より公益性の高い、地域に根差し、信頼・期待されるセンターを目指して、役員・会員が一丸となって、事業運営の展開を図ります。

今、まさに人生80年の時代です。定年退職などで引退した高齢者も、まだまだ元気で働きざかりです。シルバーでは、健康で働く意欲のある高齢者が、これまで得た知識・技能・経験を生かした臨時的・短期的な体制での「就業の場」を提供しています。会員は「働く」ことを通して、地域社会の一員として誇りと生きがいを見出し、心身両面にわたる健康の維持・増進を図っています。

また、会員は「福祉の受け手から社会の担い手へ」となることを目指して活動を行っており、高齢者の自立・育児支援、学童の通学時の安全の見守りなどのほかに、今日では地域環境

## シルバーではこんな仕事をお引き受けします

### ○専門技術分野

パソコン指導、パソコンでの資料作成・宛名印刷など

### ○事務分野

経理・一般事務、毛筆筆耕、宛名書き、封入封かん、受付事務など

### ○管理分野

施設の監視管理、駐車場・駐輪場などの管理

### ○折衝・外交分野

配達、チラシの配布など

### ○技能分野

植木せん定、ふすまなどの張り替え、大工・住宅用火災警報器の販売・取り付け、左官、簡単なペンキ塗り、刃物研ぎ、洋服の寸法直しなど

### ○屋内外の一般雑務分野

工場内の軽作業、集合住宅・居宅屋内外の掃除、草刈り、草引き、お墓の掃除、不用家具の搬出など

### ○家事・福祉援助サービス分野

家庭内の掃除、洗濯、買い物、留守番、通院介助、介添えなど

### ○子育て支援サービス分野

幼児の送迎、短時間の子守り・留守番など

その他、高齢者や一人暮らしの家庭で困っているちょっとした仕事（2時間以内程度）も行います。（例）大工、左官、水漏れ、電池や電球の取換え、ノブの修理、刃物研ぎなど

## シルバーに登録して働いてみませんか？

市内在住の60歳以上の人で、健康で働く意欲があれば入会できます。入会には、入会説明会（新入会員研修）を受け、会費（2,000円）の納入が必要です。ただし、仕事は、受注があって初めて紹介できるもので、常に就業があり、収入の保障があるものではありません。

### ●入会説明会（毎月開催しています）

**日時** 2月21日(火)、3月22日(水) いずれも午後1時30分～

**場所** 総合福祉センター3階会議室

**問合せ** シルバー人材センター（☎23・1007）



ふすま張り



まちの美化活動





# 図書館だより

推薦図書や新着本を紹介します。 ☎ 32・0562

開館時間 → 午前9時30分～午後7時（土・日曜日、祝日は午後5時まで）

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

2月のカレンダー  
…休館日



## 司書のおすすめブックス。



◆ここがわたしのうちです  
E・スピネリ 著

父親が職を失ったダイアナ一家は、住み慣れた家を離れ、祖父の家に移越す。

親友との別れ、知らない土地でのとまどいと新しい出会いを、女の子の視点で細やかにつづる。



◆ふくしまの子どもたちが描くあのとき、きょう、みらい。  
蟹江杏編・佐藤史生 編

地震、津波、原発…。福島の子どもたちが震災直後から描いてきた故郷の絵をカラーで収録。

蟹江杏と佐藤史生が震災の翌日からはじめた「被災地の子どもたちに絵本と画材を！」プロジェクトから生まれた本。



◆トレジャーハンター山串団五郎 どんぐりやまねこのなぞの巻  
杉山亮 作

トレジャーハンターの山串さんが持ち込んできた、やまねこ探しのものうけ話。

ひかるたちは、やまねこが目撃されたどんぐり山のホテルに向かうが…。

「どんぐりやまねこのなぞ」ほか、「ルノワカメのひみつ」を収録。



としょかんからのお知らせあれこれ。

### 01 新着一般書

- ◆地図になかった世界 E・P・ジョーンズ 著
- ◆キャンパス S・パハリス 著
- ◆春待ち海岸カルナヴァル 木村紅美 著
- ◆北の五稜星 植松三十里 著
- ◆嘆きの美女 柚木麻子 著
- ◆巴里茫々 北杜夫 著
- ◆流燈記 三浦哲郎 著
- ◆人生に七味あり 江上剛 著
- ◆きれいなこと 大道珠貴 著
- ◆アンチエルの蝶 遠田潤子 著
- ◆夢の花、咲く 梶よう子 著
- ◆加藤清正虎の夢見し 津本陽 著

### ゴンザレス

- ◆ビッケと弓矢の贈りもの ルーネル・ヨンソン 著
- ◆たんじょうびおめでとう！ M・W・ブラウン 著
- ◆サリーのえらぶ道 エリザベス・オハラ 著
- ◆ようちえんにいくんだもん 角野栄子 著
- ◆おはようぼくだよ 益田ミリ 著
- ◆もういちど家族になる日まで S・ラフルア 著
- ◆トントントンをまちなしろう ましろう 著
- ◆あまなきみこ くまくと6ぴきのしろいねずみ C・ウオーメル 著
- ◆クロックワークスリ マシュー・カービー 著
- ◆ノミちゃんのすてきなベット

### 03 録音図書CD

- ◆おんなごろし 仕掛人・藤枝梅安より 池波正太郎 著
- ◆殺しの四人 仕掛人・藤枝梅安より 池波正太郎 著

### 04 映画会

- 日時 3月3日(出) 午後2時～2時40分
- 「ジュエルペットとシナモンのみらいレポリ ユーション」

### 05 おはなし会

- 日時 2月18日(出) 午後3時(約30分)
- ※毎月第三土曜日の午後3時

### 06 あかちゃんのためのおはなし会

- 日時 3月1日(出) 午前11時(約60分)
- ※毎月第一木曜日の午前11時

# コラム・にんげん

人間が人間らしく生きるために、すべての人が  
等しく持っている権利、人権について考えるコラムです。

考えよう・人権



人権と文化という言葉は昔からありますが、



## 「豊かな人権文化」に向けて

「人権文化」という熟語となったのは、「人権教育のための国連10年」（1995年～2004年）の行動計画のなかで使われたのが最初だと言われています。

人権文化とは、お互いの人権を尊重することが、日常生活の中で当たり前になっていること。行動やものの考え方、感じ方に人権が自然と定着している文化を言います。

「人権は大切」「差別はいけない」と改めて考えたり言ったりしなくても、自然と考え、行動できるありさまを言います。困っている人には、ためらわず声を掛け、目の不自由な人の前に障がい物があれば自然と脇へ寄せる

ことができる。雨の日の満員電車で、濡れた傘が他の乗客に触れないよう気を付けるなど、何も難しいことはありません。

人権文化の醸成のために、男女は対等なパートナーとして社会のあらゆる分野に共に参画すること。女性への暴力、子どもへの虐待やいじめを根絶すること。高齢者の尊厳を重んじること。障がいのある人への理解や認識を深めること。外国人の異なる文化や習慣・価値観などへの理解を深めることなど、すべての人を一人の人間として尊重し、同和問題をはじめとする人権問題をみずからの問題として考えることが必要です。

また、「自分を大切にすること」、「相手の立場に立つ」ことも大きな要因

となります。この二つは違うようで繋がっています。自分は世界中で唯一無二の存在です。自分を大切に思い、扱うことができ初めて、相手の立場に立つて相手を大切に。人は国籍、性別、年齢、価値観などそれぞれすべてに違いがあります。お互いの違いを認め、容認しつつ、相手の立場を思いやる心を育てることが大切です。「もし、わたしがあなたなら」常にその言葉を唱えつつ、日常生活で自然に人権を尊重した行動ができる社会、あなたもわたしもだれもが納得のいく社会をめざして、大切に日々を過ごしていきたいと思います。いつか、人権文化がもたらす花ひらく社会になることを信じて。

## 共同

男女がともに  
自分らしく生きられるように…

きょうどうさんかく

## 参画

## なんと呼んだら？



以下はにんじんサロン登録グループによるジェンダーコントの台本です。（登場人物の天津さんと小雪さんは夫妻で、いずみさんは小雪さんの友だちです）

いずみ 奥さん 奥さん。  
天津 ああ～、こんにちは。うちには、奥さんはおらんで。外ばかり出歩いている“外さん”ならおるけど。買い物に出かけたわ。

いずみ ほんまに“外さん”やねえ。そんなら今日は、ご主人が家におる“奥さん”？

天津 まあ、そうなるけど。ぼくなあ、そのご主人とか奥さんとかいうのも気に入らんねん。夫と妻は対等や。主人とか奥さんとかいうのはおかしいと思うんや。

いずみ ああ、そうやね。ほかにいい呼び名があればいいのにねえ。

いずみ・天津 （考え込む）

天津 あ、外さん”が帰ってきたわ。小雪お帰り。いずみさん来てはるで一。カレー作つといたからな。

小雪 ただいま。ありがとう。

一概には言えませんが、配偶者の呼び名として、“妻”や“夫”と呼ぶのは、何か、そっけなく親しみが感じられない気がします。

最近では“連れ合い”という言葉を使う人も増えてきています。二人で共に助け合い、生涯を寄り添って生きていこうということで、ほっこりとした暖かさが感じられる言葉です。





第2回泉大津市立幼稚園コンサート開催

## ホール全体が歌声で一体に

12月20日に市民会館大ホールにて、市立幼稚園全園児（3～5歳児）がそろってコンサートを開催しました。

どんちょうが上がると、会場からの大きな拍手に迎えられ、子どもたちのかわいい歌声が会場に響き渡りました。手遊びや手話の入った歌も披露、最後には全員で掛け合いの歌もあり、大ホール全体が子どもの歌声で一体になり、素敵な時間を過ごしました。



戎幼稚園クリスマスminiコンサート

## 園児たちの歌声が響き渡る

12月7日、アルザ泉大津1階アトリウムで、戎幼稚園がクリスマスminiコンサートを行いました。

手作りサンタクロース・リース・クリスマスツリーに囲まれ、大勢の観衆に見守られる中、園児たちの歌声がアトリウムいっぱいに響き渡りました。



体験学習「絵手紙を作ろう」を開催

## 絵手紙で想いを形に

12月11日、織編館企画展「収蔵品展 近代の絵はがき」の開催記念企画として絵手紙を作成する講座を開催しました。参加者の皆さんは干支の辰などを、心を込めて描いていました。



泉大津大橋から初日の出を見る集い

## 今年もよい年でありますように

元日恒例行事、「泉大津大橋から初日の出を見る集い」が行われました。約200人の参加者たちは、午前6時30分に市民会館前を出発し、大橋を目指し歩きました。今年も残念ながら初日の出は見えませんでした、新しい年への期待を胸に新年を迎えました。



歌セラピーコンサートを開催

## 癒しのひとときを過ごしました

12月17日、自殺対策緊急強化事業の一環として、心のケアをテーマに浜保育所の園児による踊りと歌の披露、沢田知可子さんによる歌セラピーコンサートを開催しました。

当日は、寒風吹く中にもかかわらず、会場は満席となり、参加者は保育園児の元気あふれる踊りや歌、沢田知可子さんのすばらしい歌声に、癒やしのひとときを過ごしました。



東陽中吹奏楽部が「子どもさわやか賞」の金賞を受賞

## ボランティア活動が評価される

12月3日、大阪社会福祉指導センターで行なわれた「子どもさわやか賞」表彰式で東陽中学校吹奏楽部が金賞を受賞しました。この賞は高齢者、障がい者などとの交流活動や介助を行っている子どもなどに贈られるものです。同吹奏楽部は4年前から市内の高齢者施設を訪問して演奏を披露したり、年末に部員一同が施設の窓拭きボランティアを行ったり、施設利用者の話し相手をしたりしている活動が評価されました。

表彰式当日は、出席した20人の生徒が活動紹介で舞台上がり、心を一つに演奏して他の出席者の心を和ませました。

## まちの話題

Izumiotu Town Topics



泉大津で起こったさまざまなできごとやイベントを、写真とともにお届けします。

say cheese!!



平成24年成人式を開催

## 晴れ着いっぱい、笑顔いっぱい

1月9日、市民会館で成人式が行われました。今年、市内で新成人となるのは、男性353人、女性315人の計668人でした。

会場で新成人たちは、久しぶりの旧友との再会



に、歓声を上げたり、記念撮影をしていました。

式典では、新成人代表によるスピーチや泉大津市吹奏楽団による記念演奏が行われたのち、小学校区ごとに記念撮影をしました。



フカキ元旦オクターマラソン開催

## 新年、初走りを楽しみました

「フカキ元旦オクターマラソン」が、元日に大津川河川敷（大津川緑地）で開催されました。

当日は、絶好のマラソン日よりとなり、参加した約200人の市民ランナーは、約5kmを走る「オクターマラソン」と、約3kmを走る「健康マラソン」の2部門に分かれ、新年の初走りを楽しんでいました。



平成24年消防出初式

## 見事な一斉放水に観衆から拍手

1月8日市民会館前広場で、消防本部と消防団による新年恒例の消防出初式が、幼年消防クラブ員（市内8幼稚園）の参加も得て開催されました。

式典では、消防職員、消防団員による車両行進や幼年消防クラブ員も参加した分列行進のほか、幼年消防クラブ員による「誓いのことば」が述べられたあと、消防職員によるはしご演技、最後には消防団員が消防自動車から一斉放水を行いました。